

原爆が生んだおはけ

番場

慶方

「原爆がおちると、人のおはけになった。」

平井「そりゃ三ツトで聞いた短歌の一部です。」

私の耳からその短歌かはなれませんか。資料

館にあった、原爆がおちた周囲にいた人々や

子どもや三ツトにて被爆者の方が描いた絵など

とは、たしかに人には見えないほど皮がとけ

て、目などもとび出していました。

一つの判断として、一つの爆弾によってここまで

人たちがあつてこたがでできる。少しとおい場所

の話に及びますが、ウクライナにあるチェル

ノブイリというところでは、数十年前に原子

力発電所で起きた事故により、周辺の町は今

後数百年数千年住めたいそうです。用途は違

えど、同じウランなどの核分裂を利用する物

です。今もなお、核を物々国が力国もあり

ます。少なくとも数十年は手放すことはない

でしょう。ですが、このままどこの国も二度と

原爆が落ちないようにするにはどうすればい

いのか。それはやはり、広島と長崎で起きた
悲劇を忘れない、忘れさせないことにあると
思います。また、かなり先のことになるであ
ろう。そもそも核が無い世界を作るにはど
うすればいいのでしょうか。そもそも、世界
ではたくさん人の戦争がある中、核は抑止力の
ような扱いになっ、てしまっ、ています。

うちの国に喧嘩を売れば核を落とすぞ、
という風に、ですか、根本的に変えなく
ちやないかと思いますが。ではどう変えれば

いいのか。それは、核への脅威を訴えさせる
ことだと思います。今核を保有している国々
の大半は、武力の一番、とか思っ、ていない
でし、う。実際、そうとも言えます。ですが、
違います。それはただの爆弾ではなく、人を
人でなくく、てしま、う物、です。人を、おぼけ
に、変え、てしま、うんです。人類が持、てい、い、物
い、あ、ない。それを抑止力に、などありえま
せん。ですから、今核を保有して、いて、いい、
と思、て、いる、人、に、人、間、を、化、け、物、に、変、え、て

しまう、恐しい物であり、人類が利用して
いい物ではなかつた。ことを理解してもらおう
ことが核保有国ものにする方法だと思っています。
人を人になくさせてしまふ。数人ではま
りません。数万人です。たゞた数秒で。数万
人の人々が、人になくなくなつてしまふ。何年後
悔しても、どう悔やんでも、変えられない。

本当に、二度と繰り返さずにはなうまい、
一度きり。ではならなかつた。

今後一切、核、そして原爆がどこにも

ませんように。